

第5項 ゲンジボタル

5 - 1 調査概要

評価書の調査において確認した特筆すべき陸上動物のゲンジボタルの追跡調査を実施した。
また、ゲンジボタルの幼虫及び幼虫の餌であるカワニナの調査も併せて実施した。

5 - 1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は表 8 - 7 に示したとおりである。

表 8 - 7 調査年月日及び調査内容

調査年月日	調査時間	調査内容
平成 13 年 6 月 8 日	19:00 ~ 21:10	成虫生息確認調査
平成 14 年 2 月 25 日	10:30 ~ 15:30	幼虫及びカワニナ調査

5 - 1 - 2 調査ルート

調査は計画地内の天白川沿いを中心に実施した。

成虫、幼虫及びカワニナの調査ルートは図 8 - 9 に示したとおりである。

5 - 1 - 3 調査方法

成虫調査については計画地内を流れる天白川周辺を夜間踏査し、飛翔する個体を補虫網等で捕獲し確認を行った。

幼虫及びカワニナ調査は、昼間に天白川及び支川の河川内を踏査し、タモ網等を用いて確認を行った。

5 - 2 調査結果

調査の結果、合計で 20 個体の成虫を確認した。

確認位置は図 8 - 10 に示したとおりである。

確認状況としては、個体数は少ないものの、最終処分場計画地内の天白川沿いで広く見られた。

また、冬季に実施したゲンジボタルの幼虫及びカワニナ調査の結果、天白川本川 1 地点でゲンジボタルの幼虫 1 個体を確認した。

カワニナは計画地内の中流付近の 3 箇所で確認し、個体数は概ね 10 個体 / m²程度であった。しかし、上流付近や下流付近では確認できなかった。

ゲンジボタルの幼虫及びカワニナ確認地点は図 8 - 11 に示したとおりである。

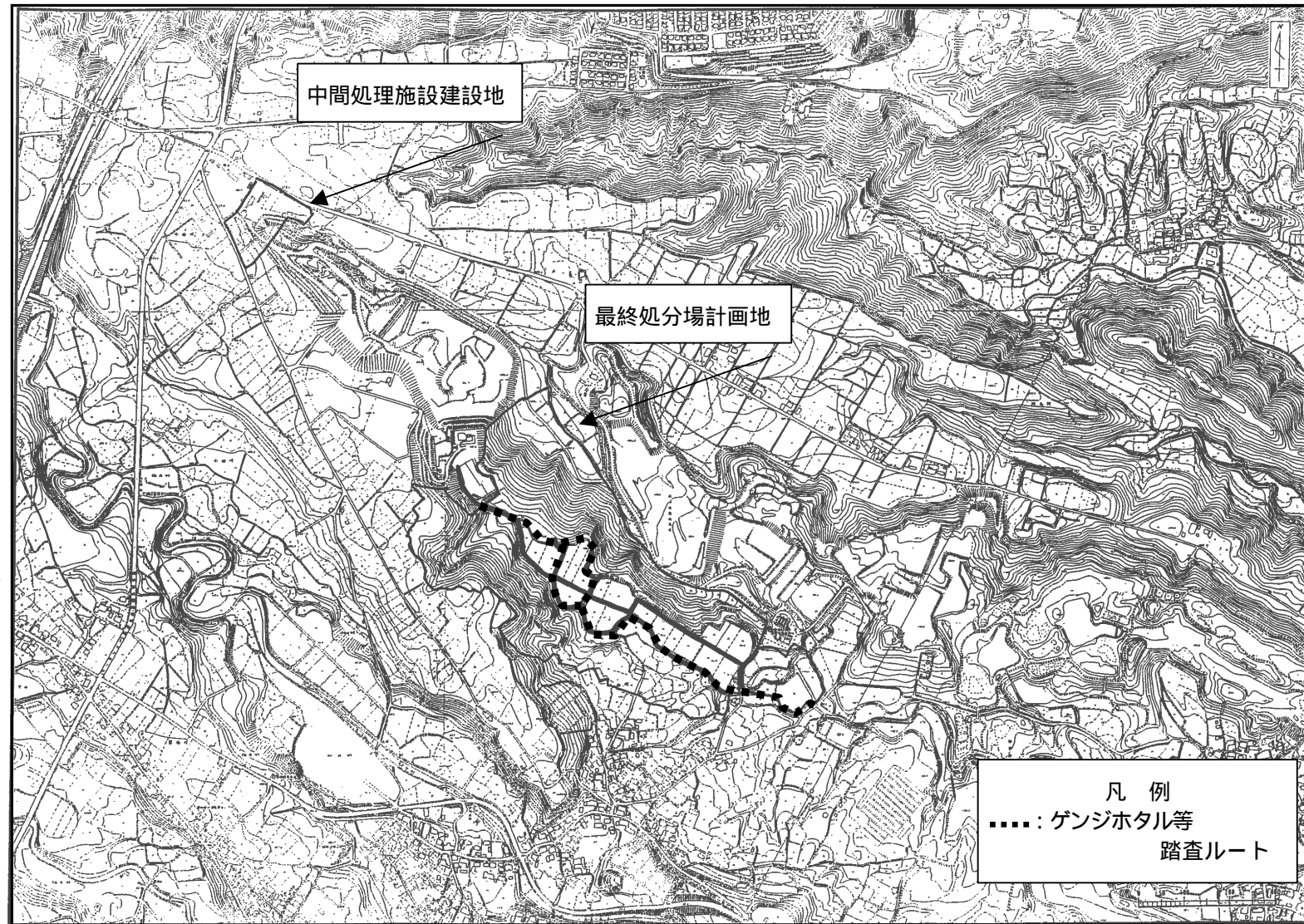


図 8 - 9 ゲンジボタル（成虫・幼虫）カワナ調査ルート

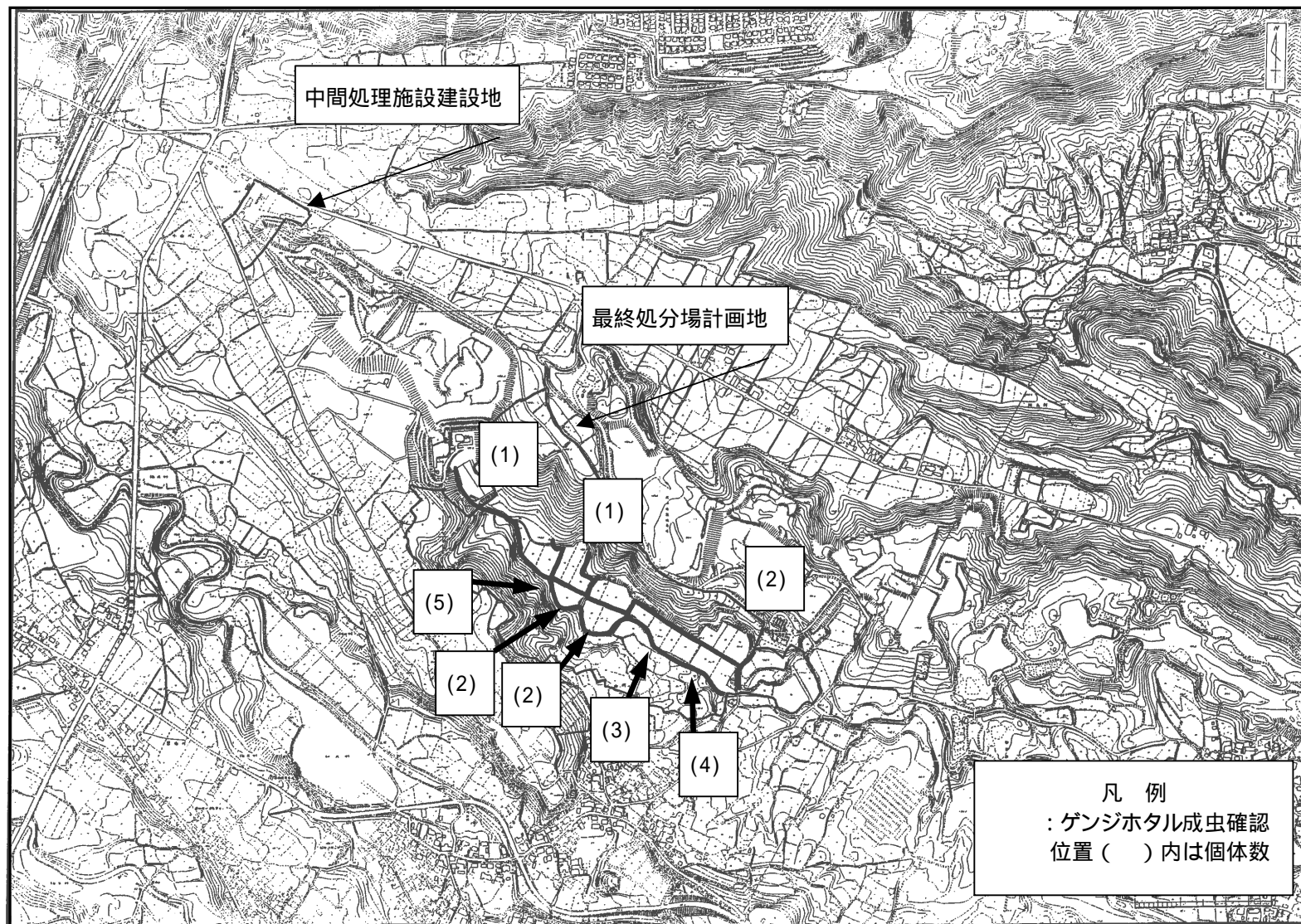


図 8 - 10 ゲンジボタル (成虫) 確認場所

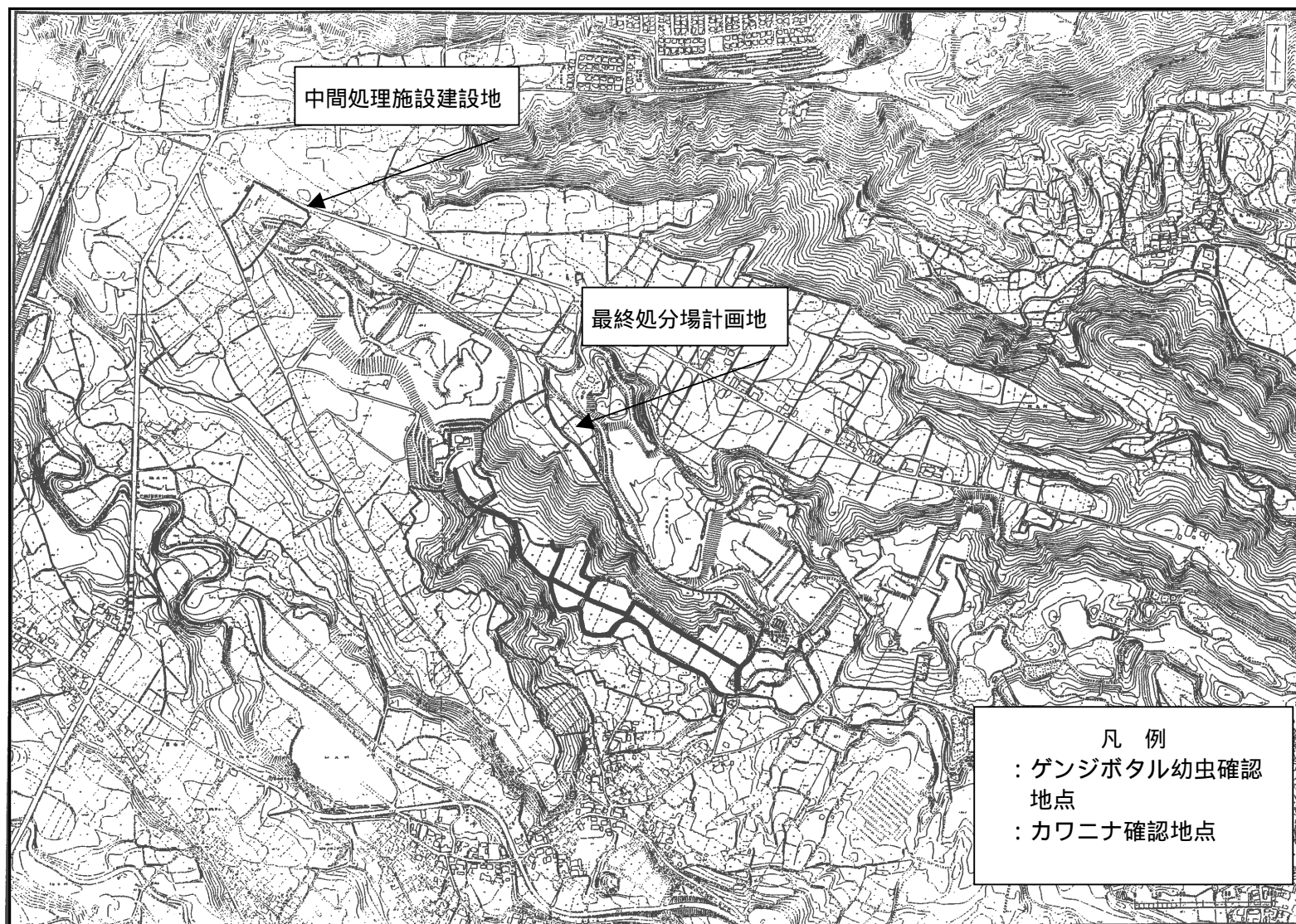


図 8 - 11 ゲンジボタル幼虫・カワニナ確認地点

5 - 3 まとめ

今回の確認数と平成 12 年度の調査時の確認数（最大時で 25 個体）とを比べてみると、今回の確認数はほぼ同程度の個体数であった。また、確認場所も計画地の中央部分で比較的多く確認しており、平成 12 年度の調査時と同様の結果であった。

また、計画地内における天白川で実施した幼虫調査では、天白川本川で本種の幼虫 1 個体を確認した。

本種の幼虫の餌であるカワニナについては、計画地内の中流付近で多数確認したが、上流付近や下流付近では確認できなかった。

以上のことから、本種の生息環境は平成 12 年度の調査時とほとんど変化がないと考えられ、今回実施した幼虫調査の結果を合わせても、本種の主な生息地は天白川ではなく、流入する小河川であることが考えられる。